

上越ケーブルビジョン
令和4年度
第2回放送番組審議会 議事録

- 1 開催年月日 令和5年3月3日(金) 14:00~15:00
- 2 開催場所 上越ケーブルビジョン本社
- 3 委員出席
- 委員数 6名
- 出席委員数 4名
- 出席委員の氏名 水落芳明 委員長、稲葉勇次 副委員長、飯吉由美 委員
堀口典幹 委員
- 欠席委員の氏名 岸田健 委員、福井ひとみ 委員(文書回答)
- 上越ケーブルビジョン株式会社 出席者名
- メディアセンター 福嶋良章 担当取締役、沢田真紀 担当部長、佐藤康司 課長

4 議題

- (1) 特別番組について
- (a) 直江津祇園祭御饌米奉納
- (b) 第97回 謙信公祭
- (c) 越後・謙信 SAKE まつり
- (d) レルヒ祭
- (2) その他

5 議事の概要

(1) 特別番組について

概要 3年ぶりにほぼ例年通り開催される催しが多かった。会場に行けない人もいたため、基本的にありのままをテレビやネットを通じて放送している。今年はほぼ従来通りのイベントが戻ってくると思うので視聴者に届けていきたい。

(a) 直江津祇園祭御饌米奉納

概要 久しぶりの中継。直江津大花火大会の視聴は3万ビューを超える程。花火を見たい人が多かったという印象。アナウンスと山車の賑わいの音を BGM に見せる構成。スポンサー企業が、打ち上げを心待ちに見て楽しむという声も聞いている。祇園祭の締めくくりは御饌米奉納。例年に比べ参加者は少なかったが、会場の雰囲気と、地域の皆さんの祭への喜びは伝えられたと思っている。ネットでの視聴は2万5千ビュー。

(b) 第97回 謙信公祭

概要 3年ぶりに復活。山麓線での出陣行列は沿道のお客さんが多かったのがわかる。合戦の再現は最初から最後まで中継した。今年の出陣行列参加者は県内限定だった。

(c) 越後・謙信 SAKE まつり

概要 今年の本町に並ぶ、酒蔵とグルメブースを紹介した。今年タレント等のゲスト出演は無く、アナウンサー中心に構成。その分、地元の人に出演してもらい、まつりの魅力を紹介した。初日のお昼に中継し、番組を見て会場に足を運んでもらう意図。以前の人出ほどではないが、賑わいはもどりつつある印象。

(d) レルヒ祭

概要 例年通りの祭りの内容を伝えられた。レルヒ少佐の功績をVTRで振り返ったり、会場の屋台の様子、関連イベント、高田西小の金谷山太鼓、高校生などの取り組みを紹介。最後の花火は画面に木がかかってしまいうまく見せる事が出来なかった。原因と対策を講じ次回へ引き継ぎたい。

6 審議内容

(1) 特別番組について

- ① (審議委員) いずれの番組もインタビューなど入っていてよく構成されていると感じた。
- ② (審議委員) SNSについてJCVのYoutubeは1万人ぐらい登録者がいて内容もおもしろいと思う。テレビを持たない人が増えている中、ニュースはTwitterや「上越妙高タウン情報」で見ている。そういったところで若い人達のリーチを集められれば、番組自体は面白いので、更に利用者を増やせるのではと感じている。

(a) 直江津祇園祭御饌米奉納

- ① (審議委員) 歴史ある祭りを初めて見た。100年1000年続く祭りにしたいという地元の参加者の熱い気持ちを感じた。
臨場感があり番組としての魅力を感じる。
- ③ (審議委員) 動作一つひとつにどんな意味があるのか、お祭りの意義など解説や、ここが見どころなどがあってもいいのでは。例えば紅白のように1週間、2週間前からの番宣番組で徐々に盛り上げていくなど、無理に盛り上げる必要はないのかもしれないが、あっても良いかと。花火大会は順番・プログラムのQRコードが画面上にあってもいいのでは。

(b) 第97回 謙信公祭

- ① (審議委員) 岐阜の「信長まつり」は木村拓哉を起用したことで話題となり、経済効果が何十億円とも言われた。謙信公祭ではどれくらいの集客があったのか、経済効果は以前と比べてどうだったのか。今後はGacktなどの俳優は呼べないのか。市の見解や予算など検証の情報も盛り込んだら面白いと思った。見ていて楽しくないとただのコスプレ大会になってしまう。やっている人だけが満足するのではなくみんな

で楽しめる祭りになったらいいと思う。

- ② (審議委員) 黒い鎧と赤い鎧、どっちがどっち？わかって見ている人がどれくらいいるのか。「三太刀七太刀」のシーンの意味を専門家の解説など、ありのままを放送するのもいいが、この番組を通してお祭りに興味を持ってもらう工夫も必要。

(c) 越後・謙信 SAKE まつり

- ① (審議委員) いろんな蔵元のお酒が紹介されていて楽しいイベントだと思った。県外の人にも知ってもらいたい機会になると思うので当日や後日放送だけでなく、もっと事前に周知の放送をしたり、関東圏にも広げてイベント案内ができれば良いと思う。例えば、東京で「ふるさと物産展」のようなイベントを行い美味しいお酒や食べ物をより多くの人に知ってもらうなど。
- ② (審議委員) 当日出店していたが、中継を見てきたという人が多かった。客層や会場の雰囲気映像でみてわかってきたという事。毎年来られる人が少なく、初めて来たという方の声があった。生中継でやっていただくのは心強い。

(d) レルヒ祭

- ① (審議委員) 地元の人にとってはなじみのあるイベントかもしれないが、初めて見る人にはレルヒって誰だろう？特徴やこれぞというものが伝わって来ず、いまいち趣旨や楽しさが伝わって来なかったのが残念だった。

(2) データ放送リニューアルについて

概要 d ボタンを押すと様々な生活情報をご覧いただけるようになった。降雪情報、天気、病院の休日診療、ごみカレンダー、水位情報、ライブカメラ、ラジオも聞ける。BGMも曲名を表示。お出かけ前の道路状況など日常生活に活用してほしい。

- ① (審議委員) 降雪量予想は毎日見ている。BGMも曲名が出るようになって便利になった。気温と湿度がでるのでチェックしている。
- ② (審議委員) ライブカメラの数が増えたので一周回ってくるのに時間がかかる。カメラの選択はできない？

(事務局) 今は難しい。検討中。

(3) 十日町エリアの情報について

概要 8月から十日町でのサービを開始。上越の隣ではあるが、地域文化が違うので十日町で取材した独自の番組を放送している。ネットでは「十日町タウン情報」を立ち上げた。雪まつりは十日町から初めてのの中継。上越でも同時生放送し、タウン情報でも配信。現地のスタッフが取材したニュースを「NEWS LiNK ウィークリー」として一週間分をまとめて放送。祭りなどのイベントのほか、ステージ発表など少しずつ番組を増やしている。現在はJCVを知ってもらおうきっかけづくりをしているところ。JCVのサービスを楽しんでもらう取り組みを進めている。

①（審議委員） 近いようでお互いの季節のイベントを知らないのです。お互いのイベントが両方で見られれば、行き来して地域の活性化につながるのでは？

（事務局） 両方で流すことで相乗効果があれば。直近では「越後・謙信 SAKE まつり」を十日町で放送した。

②（審議委員） 十日町のライブカメラは？

（事務局） 2つのカメラ映像が来ている。徐々に増やす予定。

（4）その他

（審議委員） OR コードで「番組の解説はコチラ」その先の解説はチャット GPT など、ケーブルテレビとネット両方の楽しみ方を提案すれば、しばらくのスタンダードになるのでは。

7 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法

①事務所への備え置き

②自社ホームページ (<https://www.jcv.co.jp/>) への掲載

8 閉会